
元気ですか？

ユーヨ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

元気ですか？

【Nコード】

N7365C

【作者名】

ユーヨ

【あらすじ】

解らないことがあれば問うべきだ

影の無いところ

「やあ、元気ですか？まあ元気でしかなさそうですね」

山下と刻まれているネームプレートを左胸につけている女に話しかけられた。勿論誰だか知らない。

「……元気ですよ。それより、何故私は元気なのでしょうか？」

その問に答えず、女は空を指差して、

「ほら、見てください。あれ、何だか解りますか？」

「太陽じゃないんですか」

青い空と思えるところに光を放つ物があつた。私には太陽にしか思えなかった。

「違います。ただの光です。太陽なんてありません」

「光……」

太陽だろうがなんだろうが、私には関係なかった。周りを照らしてくれるなら、何だつてかまわない。

「今度は地面を見てください。……影なんてないでしょう。だから太陽じゃあ、ないんですよ。だから元気なんですよ……」

影の有るところ

父が死んでしまった。もう歳だったのでしょうがないことだった。しょうがないことだったが、やはり悲しかった。

母は父より数年前に死んだ。これもしかたないことだった。だけれど、やはり悲しかった。

私は思った。私が死んだら、私の子もこんな思いをしなければな

らないのかと。そう思うと人間の寿命の短さを感じずにはいられなかった。初めて長生きしたいと思った。

影の無いところ

「私はこれからどうすればいいのでしょうか？」

「……成さなくてはいけないことなんて、ありません。どうすればいいかなんて聞かれても困ります」

そう言うと女は、歩き出した。

「何処に行くんですか？」

「あっちです」

女は地平線を指差した。

「何かあるんですか？」

「ありますよ」

「ならば、私も行きます」

女は振り返り、

「駄目です。自分で決めてください。他人まかせなんてそんなの絶対に駄目です。私の向かう先は果てしない地平線に見えますが、行けば必ず何かあります」

「何かとは？」

「自分で見てください」

「はあ……じゃあ、そうすることにします。私はあっちに行くことにします」

「それでは、さようなら。またどこかで会うことがあるかもしれませんが。そのときにはまた、よろしく願います」

手を差し伸べてきたのでそれを握って、握手をしながら、

「こちらこそ、よろしく願います」

そう言って分かれた。

「最後に言いますが、私たちは解放された身です。物質ではないんですよ。だから何処までもいけますよ。それを望むならね…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7365c/>

元気ですか？

2011年2月1日04時15分発行